

食道表在癌の診断が、今大きく変わろうとしている。これまでは色素法を用いた内視鏡診断を開発し、早期発見に努め、内視鏡治療を確立することで精一杯であった。この成果は目覚ましかったし、食道癌の臨床に新たな分野を切り開くことができた。同時に、従来得難かった多くの知識を蓄積することができた。今回の企画“発育進展”(粘膜癌から粘膜下層癌へ)は、永年の懸案の1つである。この分野に立ち入ること自体がわれわれの目標の1つであった。食道癌発生の背景、初期病巣の確定、初期病巣から粘膜癌、そして粘膜下層

癌への進展、そして様相を大きく異にする進行癌への発育経過を知ることは、学問的興味だけでなく診断・治療に寄与するところが大きい。しかし、このためには臨床、病理、基礎研究のそれぞれが相当の蓄積を持たねばならなかった。今、曲がりなりにもここに至ったが、20年余りを要したことを知る身には、ある種の感慨を覚えるのである。今回の企画はこの分野に第一歩を踏み出したという点で、大きな意味がある。この先の発展に期待したい。

胃と腸

4月号(第35巻・第5号) 予告

発売予定 4月25日
定 価 (本体2,300円+税)

主題/Helicobacter pylori 除菌後の消化性潰瘍の経過—3年以上の症例を中心に

- 序 説 *Helicobacter pylori* 除菌後の消化性潰瘍の経過
—3年以上の症例を中心に……………名古屋市大・1内 伊 藤 誠
- 主 題 *Helicobacter pylori* 除菌後の胃潰瘍再発……………兵庫医大・4内 福田 能啓・他
- 消化性潰瘍の *Helicobacter pylori* 除菌後の再発
—わが国における実態……………虎の門病院・消化器科 田中 達朗・他
- Helicobacter pylori* 除菌後の胃潰瘍の経過
—3年以上の症例を中心に……………藤田保健衛生大第2病院・内科 芳野 純治・他
- Helicobacter pylori* 除菌後の背景胃粘膜の性状と
潰瘍の再発……………広島大・1内 鎌田 智有・他
- 胃潰瘍と十二指腸潰瘍における再発因子としての
Helicobacter pylori の重要度……………名古屋市大・1内 佐々木誠人・他
- Helicobacter pylori* 除菌後の消化性潰瘍の経過からみた
除菌法のあり方……………北海道大・3内 杉山 敏郎・他
- 座談会 *Helicobacter pylori* 除菌後の消化性潰瘍の経過……………名古屋市大・1内 伊藤 誠・他

胃と腸 (第35巻 第4号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocyo @ igaku-shoin.co.jp

2000年3月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体5,000円+税)(配送料164円)

2000年年ざめ予約購読料35,140円

(2号分の増刊号を含む14冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 2000, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当)小長谷・天野・小松原・向山